

令和元年 8 月 2 日  
 ニューズ証券株式会社  
 長友 哲郎  
 03-5466-1641

## 日経平均の動き

私はこれまで相場の大きな流れを的確にとらえようと、さまざまに日経平均の分析を行ってきました。そして「データによる分析で勝率を上げるため」様々なデータを作成してきました。以下はそのデータを使い、これからの日経平均の動きを私なりに分析しコメントしています。皆様のご参考になれば光栄です。

### ▶ 来週の日経平均予想

8 月 SQ1 週期間前の終値は 21,087.16 円でした。ピーク to ピークでのデータでは「8 月 SQ2 週間前の終値 (21,658.15 円) よりも 8 月 SQ1 週間前の終値の方が安くなる」でしたので、今回はデータ通りとなりました。

直近10週間の週単位でのピークtoピークの検証結果						
週末の終値(もしくはSQ値)	次の週の検証	次の週の終値		検証結果	変動率	
5月24日	21,117.22(終値)	高くなる	5月31日	20,601.19(終値)	×	0.976
5月31日	20,601.19(終値)	安くなる	6月7日	20,884.71(終値)	×	1.014
6月7日	20,884.71(終値)	安くなる	6月14日	21,060.56(SQ値)	×	1.008
6月14日	21,060.56(SQ値)	安くなる	6月21日	21,258.64(終値)	×	1.009
6月21日	21,258.64(終値)	高くなる	6月28日	21,275.92(終値)	○	1.001
6月28日	21,275.92(終値)	高くなる	7月5日	21,746.38(終値)	○	1.022
7月5日	21,746.38(終値)	高くなる	7月12日	21,742.57(SQ値)	×	1.000
7月12日	21,742.57(SQ値)	安くなる	7月19日	21,466.99(終値)	○	0.987
7月19日	21,466.99(終値)	安くなる	7月26日	21,658.15(終値)	×	1.009
7月26日	21,658.15(終値)	安くなる	8月2日	21,087.16(終値)	○	0.974
8月2日	21,087.16(終値)	安くなる	8月9日	?		

次に来週の検証を行います。

8 月 SQ1 週間前の終値と SQ 値を比較すると、24 年間で 14 回下落しています (①)。

また今回のように、8 月 SQ1 週間前までの 1 週間がマイナスだったというのが 15 回あります。そのうち 9 回は 8 月 SQ1 週間前の終値より SQ 値の方が安くなっています (②)。

したがって、①、②より「8 月 SQ 値は SQ1 週間前の終値 (21,087.16 円) よりも安くなる」というのがピーク to ピークでの検証結果です。

### ▶ 外国人の売買動向 (資料: 外国人の売買代金、信用残の推移)

7 月第 4 週の外国人は 1200 億円の買い越しでした。この週は 3 週間ぶりに上昇しましたが、外国人も 3 週間ぶりに買い越しとなっています。なお先物は 4 週連続の買い越しです。

しかし今週 (8 月第 1 週) はガラッと変化しています。今週の最大のイベントは FOMC でしたが、大方の予想通り 0.25% の利下げとなりました。その結果材料出尽くしで 31 日の NY ダウは 334 ドル安と大幅下落となっています。なお日経平均も連れ安となりました。しかも週末はトランプ大統領の中国に対する第 4 弾の追加関税発動コメントによりさらに下落となっています。

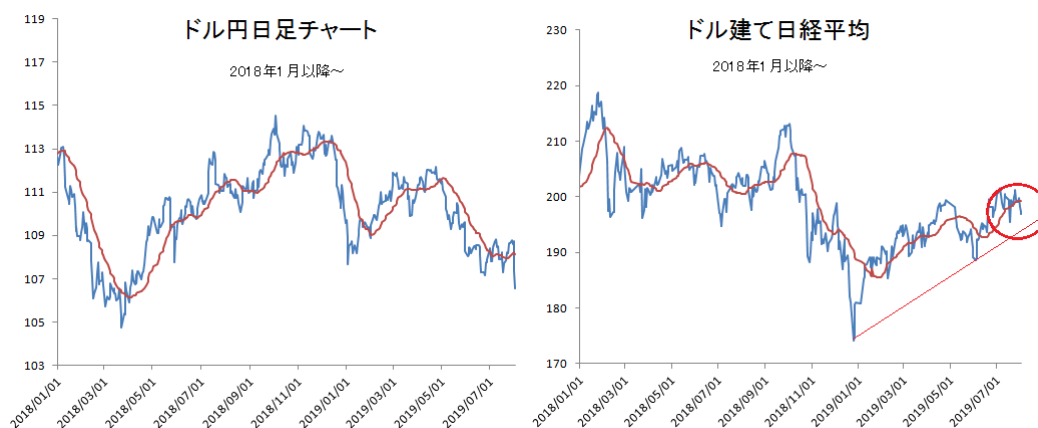


ニューズ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号

〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

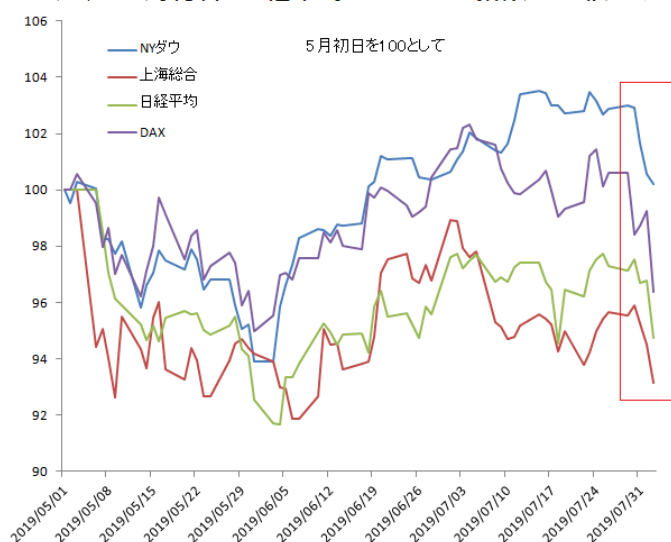


FOMC後は追加利下げの可能性が低くなったということで、ドル円も5月31日以来1ドル109円まで円安が進みましたが、トランプ発言で週末は106円台と乱高下がありました。僅か2日で3円近い変化で、終値ベースで見ると今年最高の円高局面となってきました。

なおドル建て日経平均は再度25日移動平均線を下回ってきました。これで再度今年1月からの上昇トレンドの下限に近付いてきました。このトレンドラインを割ってくると本格的な下落トレンドに入ってくると考えます。

世界の主要市場も変化が出ています。先週は持ち直しの動きとなっていた主要市場も今週は大きく下落、日経平均を除き軒並み直近安値を更新してきました。なおNY市場は週間ベースで今年最大の下げとなっています。

NYダウ・上海総合・日経平均・ドイツDAX指数の比較チャート



さて、最近売買代金が細っていましたが、2日は令和最大の下げを記録したにもかかわらず2兆8250億円と約2カ月ぶりの高水準となりました。

今年に入って4月まで日経平均は上昇基調にありました。その後5月から6月の頭にかけて下落局面がありましたが、また反発。つまり今年の2月以降は一時的に21,000円割れもありましたが、概ね21000円以上で推移していました。そして今回その水準の下限で売



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号

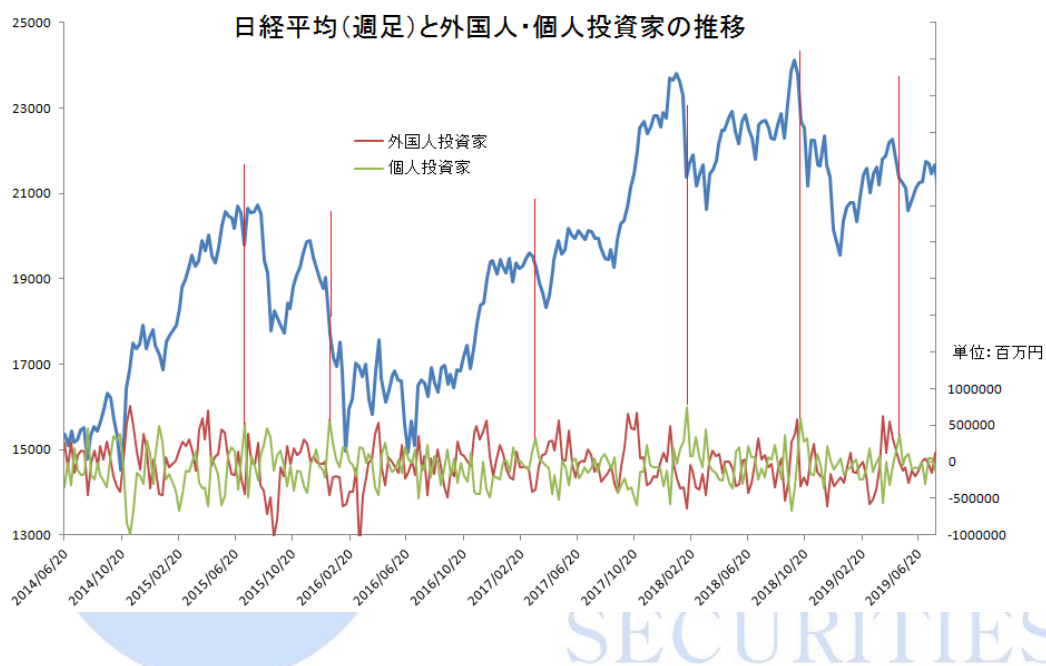
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

買代金が膨らんだということは「押し目買いだ」ということで個人投資家が買っている可能性が高いのではないかと考えます。

そこで過去 5 年間で個人投資家が大幅買い越した後の日経平均がどう動いているかを見ていきます。

緑の折れ線グラフが個人投資家の動向ですが、このラインがピークを打った場面の日経平均を赤のラインで伸ばしてみると、その後さらに下落するパターンの方が多くなっています。もし日経平均がさらに下落し、来週発表の売買動向も個人投資家が大幅買い越しだったら要注意です。



#### ▶ チャート分析

今週の日経平均は 571 円の下落でした。FOMC 後材料出尽くしで下落、それに加え週末のトランプ大統領の追加関税発言でさらに下落しました。週末の金曜日は直近 (7 月 18 日) 安値も下回り、一時 21,000 円割れもありました。先週「大きな流れとしては再度下落するというのが私の発想ですが、そのタイミングが少し遅れる、つまりもうしばらく上昇する可能性も出てきたのではないかと考えます」と書きましたが、にわかに波乱局面が訪れてきました。

6 月の安値と 7 月の安値を結んだラインを下回りましたので、次は昨年 12 月の安値と 6 月安値を結んだラインが下値のメドになります。その水準はちょうど昨年 10 月からの値幅に対する 3 分の 2 押し水準とほぼ同じです。この水準は重要です。もしこの水準を下回ると更なる下落が始まると考えます。



ニューズ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号

〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会



次に、前回まで参院選の後の日経平均について解説しましたが、今回は過去10年間で8月の騰落率を算出してみました。

過去10年間の日経平均8月の騰落率			
2013年8月	-2.04%	2018年8月	1.38%
2012年8月	1.67%	2017年8月	-1.40%
2011年8月	-8.93%	2016年8月	1.92%
2010年8月	-7.48%	2015年8月	-8.23%
2009年8月	1.31%	2014年8月	-1.26%
2019年8月2日時点		-2.02%	

過去10回中6回は下落していますが、注目はその6回の下落のうち3回は7%以上の大幅下落だったことです。2011年は米国債の格下げによるショック安、2015年は中国ショックなど今でも記憶に残っています。しかも外的要因で下落することがほとんどです。

そして今、米中貿易戦争やブレグジットに加え、日韓問題も台頭し、言わば悪材料だらけと言っても過言ではありません。そういった状況の中ですから嚴重に注意して行動していくことが大切です。

#### 注意事項

- ・この資料の作成にあたっては細心の注意をしておりますが、作業上データに誤りが発生する可能性があり、正確性を保証するものではありません。またここでの内容は現時点での判断を示しているにすぎません。また予告なく見方を変更することもあります。
- ・この資料は情報提供のみを目的に作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資の最終決定はご自身でなさるようお願いいたします。

News 20190805-1



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号

〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会